



平成28年4月5日

各位

上場会社名 株式会社 シー・ヴィ・エス・ベイエリア
 代表者 代表取締役社長兼営業本部長 上山 富彦
 (コード番号 2687)
 問合せ先責任者 執行役員管理本部長 鱒淵 晃
 (TEL 043-296-6621)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、27年4月8日に公表いたしました平成28年2月期(平成27年3月1日～平成28年2月29日)の業績予想につきまして、下記の通り修正いたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,900	200	200	110	2.23
今回修正予想(B)	29,193	151	145	201	4.08
増減額(B-A)	293	△49	△55	91	
増減率(%)	1.0	△24.5	△27.5	82.7	
(ご参考)前期実績 (平成27年2月期)	28,726	230	278	225	4.56

平成28年2月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	21,760	108	145	107	2.17
今回修正予想(B)	22,620	37	68	193	3.93
増減額(B-A)	860	△71	△77	86	
増減率(%)	4.0	△65.7	△53.1	80.4	
(ご参考)前期実績 (平成27年2月期)	22,116	70	168	192	3.91

修正の理由

個別業績において、主力事業であるコンビニエンス・ストア事業が堅調に推移したことや、当期のホテル事業において、期初計画ではビジネスホテル、ユニット型ホテル各1棟の新規開業を計画しておりましたが、12月以降、期初計画に追加して3棟のユニット型ホテルを相次ぎ開業したことで、営業総収入は予想を超過しました。

しかしながら、ホテルを追加開業したことに伴う各種消耗品、人件費などの開業準備経費や開業前賃料に加え、来期に開業を予定しているホテル物件の契約に伴う不動産仲介手数料などの費用負担が発生したほか、12月から1月に掛けて4棟のホテル施設を立て続けに開業させたことで、運営オペレーションの確立と認知度向上への取り組みの両立が不十分であったこともあり、1月年始から2月に掛けての出張宿泊需要が低迷する期間において稼働率が伸び悩む結果となったことから、営業利益、経常利益は予想を大きく下回る見込みです。

なお、12月下旬開業の「東京有明BAY HOTEL」については、ユニット区画は当初男性専用としていた関係などから特に苦戦しておりましたが、他施設で女性のお客様のご利用が順調に推移していることを受け、3月中旬より女性専用フロアを設けた効果もあり、3月以降の稼働率は大きく改善しております。

また、旧コンビニ店舗用地の売却による固定資産売却益36百万円のほか、2年前に閉店方針を決定したものの、その後の運営努力で採算が改善した店舗に関する店舗閉鎖損失引当金の戻入額83百万円を特別利益として計上したことなどから、当期純利益は1億93百万円となる見込みであります。

連結業績については、個別業績予想の修正のほか、連結子会社において新規顧客開拓が遅れたことで営業総収入は小幅な超過となったものの、経費見直しなどが進んだことから、営業総収入は291億93百万円、営業利益は1億51百万円、経常利益は1億45百万円、当期純利益は2億1百万円となる見込みです。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上